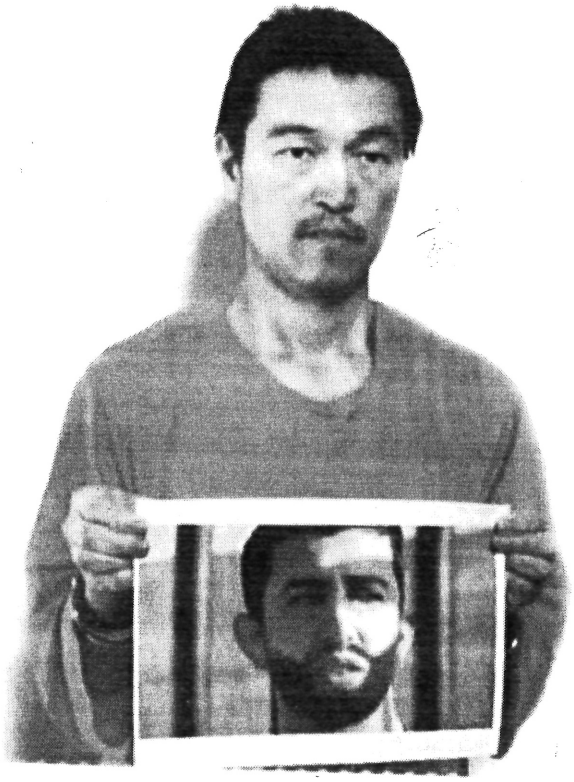
後藤さんを救えなかったか〈仮題〉

――――政府は何をし、何をしなかったのか？

西谷文和著　A5判64ページ/ブックレット

4月15日刊行　定価800円＋税　第三書館発行

イスラム国・シリアへのベテラン・ウオッチャー西谷文和の迫真現地検証ルポ刊行。あの人質――処刑事件のウラに何があったのか、救出チャンスはいかに見過ごされたか、政府のとった対応策は正しかったか、安倍政権の中東外交は大丈夫？



○政府は総選挙前に事態を把握しつつ隠蔽？
○首相は中東で何を語り、何を語らなかったか
○後藤さんの生死を分けた瞬間はこう崩れた
○身代金をめぐる真偽裏表の駆け引きの明暗
○解放交渉失敗過程は「特定秘密」で闇の中？
○ヨルダンの対策本部は、やる気のなさ充満
○イスラム国は21世紀の加賀一向一揆か？
○日本の有志国連合加盟は宣戦布告と同じ
○後藤さんは「中立国人」から「敵国人」化した
○従容とした処刑対応は反復リハの結果か？
○形だけの美辞麗句で安倍首相は謝辞もなく
○イスラム国に我々はどう向き合うべきなのか

などなど気になること、気にすること満載！

『イスラム・ヘイトか、風刺か』

これはイスラム風刺マンガではない、ヘイト表現そのものだ。シャルリー・エブド紙を賞賛するのではなく批判し、日本の嫌韓憎中ヘイト本の氾濫に警告を発するために、同紙掲載マンガ47点をイスラム系読者に配慮した形で収録。本はすべて、手にとって、読んでから批判を！

全国書店で発売中　A5判64ページ/ブックレット　定価550円＋税　第三書館編集部編

帖合	第三書館　FAX03-3208-6623　電6668	
冊	後藤さんを救えなかったか〈仮題〉	
	定価800円+税	ISBN978-4-8074-1525-0
冊	イスラム・ヘイトか、風刺か　定価550円+税	ISBN978-4-8074-1515-1